

連日猛暑日が続き、熱中症警戒アラートが発表されています。活動参加者への注意呼びかけはもちろん、クラブ運営スタッフの皆様も体調には十分ご注意ください。

今月中旬には、県連絡協議会R5年度総会が開催されます。オンライン上ではありますが、皆様顔を合わせ、事業数の増える秋に向けて有意義な情報交換をしましょう！

➤【報告】県内クラブ訪問記録

➤香南ししまるスポーツクラブがファイブカラースを視察！

7月9日(日)、高松市下笠居校区青少年健全育成住民協議会の一員として活動しているファイブカラースを、香南ししまるスポーツクラブ副会長とともに訪問しました。

下笠居コミュニティセンターでは移動駄菓子屋の前に多くの子供が集まり、下笠居独自の地域通貨『シモカ』を手に駄菓子を選んでいた。

「様々な地域団体と手を取り合えば、総合型クラブ単体では不可能な事業にも取り組める」という代表の言葉は、今後運動部活動の地域移行を進めていく上でも非常に大切なことだと感じました。



クラブ間交流の希望・相談がありましたら、
お気軽にご連絡ください！

➤一般社団法人小豆島スポーツのバスケットミニを見学！

(一社)小豆島スポーツでは、H30年度にクラウドファンディングを活用し、クラブ所有のジムニーにバスケットゴールをつけた移動式公園カー「スポーティーZ」を作成しました。

クラブや土庄町主催事業のほか、県内各地のイベントに出張し、幅広く活用されています。

訪問当日の7月23日(日)は、最高気温が37度を超える真夏日だったため早めに切り上げましたが、青空の下で楽しそうにバスケをする参加者の姿がとても印象的でした。



小豆島スポーツFacebookページ

<https://www.facebook.com/shodoshima.sporty>



➤【案内】県総合型クラブ連絡協議会 R5年度総会の開催

日時：2023年8月18日(金)19:00～

方法：オンライン (Zoom)

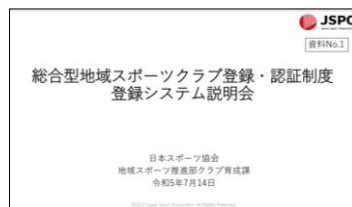
総会当日は、

- ・R6年度登録から本運用となる「登録システム」の概要説明
 - ・設立準備団体の県認定
- なども行います。

盆明けでお忙しい時期と思いますが、
たくさんのご参会をお待ちしております。

当日欠席の加盟クラブには後日、当日資料とともに議事録を送付します。

欠席の場合は必ず委任状（オンライン上）を提出ください！
※8/9(水)にメールでお送りしています。



【Club Newsに関するお問い合わせ先】

メール：club-kagawaken@japan-sports.or.jp

電話：087-832-3762（県教育委員会事務局保健体育課・生涯スポーツグループ：山家）

➤【案内】各種助成事業について



■スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム

申請期間：2023.08.21(月)～09.21(木)23:59
助成額：

- ①チャレンジコース：50万円以下（1年間分／16件程度）
地域におけるコミュニティスポーツのチャレンジと、その後の自立・発展をめざす事業
 - ②アドバンスコース：300万円以下（2年間合計／4件程度）
地域を超えたコミュニティスポーツの展開や、特定の地域におけるコミュニティスポーツの深化をめざす事業
- 助成対象期間：①は2024.04.01～2025.03.31の1年間
②は2024.04.01～2026.03.31の2年間



(公財)住友生命健康財団「コミュニティスポーツ推進助成プログラム」
https://skzaidan.or.jp/sports_grant/

➤【留意】「総合型クラブが活用可能な助成・補助事業について」(7月送付の情報提供資料)に関して

7月発行「Club News No.16」と共に県内クラブへお送りした「総合型クラブが活用可能な助成・補助事業について」にて、(公財)ライフキッズスポーツ財団の助成事業を紹介しました。

同財団の助成事業のうち、
【スポーツ活動助成】

- ・一般公募助成事業
- ・財団推進事業（事業費100%支援）

は総合型クラブも活用可能ですが、**【子ども活動支援基金】は助成対象者が地方公共団体となり、総合型クラブ単体での申請は不可**です。十分ご注意ください。



<https://www.lsf.or.jp/>



➤【案内】活動中の熱中症対策について

NHKの報道によると、7月24日～30日までの1週間に熱中症で搬送された人は全国で11,765名となり、気象庁は「今後も猛烈な暑さが予想される」として、引き続き熱中症への対策の徹底を呼びかけています。

WBC(体感)	湿度(%)	気温(℃)	熱中症の危険性	対策
31	27	35	運動は原則中止	特別の警告以外は運動を中止する。特に子どもの場合に中止すべき。
28	24	31	厳重警戒(激しい運動中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分を補給する。暑さに弱い人は運動を軽減または中止。
25	21	28	警戒(前段階に体感)	熱中症の危険性がやや高いため、運動前に体感などを確認。水分・塩分を補給する。暑い運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
21	18	24	注意(前段階に体感)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の自然に備前に水分・塩分を補給する。
18	15	21	ほぼ安全(前段階に体感)	通常は熱中症の危険性は小さいが、運動前・水分・塩分の補給が必要である。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するでの注意。

環境省「下記のイベントにおける熱中症対策ガイドライン2020」では、暑さ指数28～31は「**厳重警戒(激しい運動は中止)**」とされています。

一方、**ガイドラインは元氣な人たちが前提のもの**。ガイドライン上では活動OKだと安心せず、場合によってはガイドラインの基準から1～2段階ほど落として考えることも必要です。

【参考資料】

➤JSPOが毎年発行する教育機関向けポスター。



スポーツ活動時の熱中症予防に関するポイントを分かりやすくまとめており、全国の小中学校（特別支援学校含む）および教育委員会へ配布しています。



<https://www.japan-sports.or.jp/medicine/heat-stroke/tabid523.html#03>

➤熱中症研究の第一人者である早稲田大学教授の記事。



2023.08.07 FRAU
「水さえ飲めば」「保冷剤を脇に」…熱中症研究の第一人者が警鐘鳴らす予防の落とし穴
<https://gendai.media/articles/-/114371?media=frau>